

# 避難の困難性浮き彫りに 新潟県の原子力防災訓練で直江津港へ避難者

岸田首相はいま、退陣を前に原発再稼働の道筋をつきたいと必死です。しかも東京電力柏崎原子力発電所については、具体的な名前を挙げて言及しています。この動きは絶対に認めるわけにはいきません。

こうしたなか新潟県はこのほど原子力防災訓練を実施し、海上自衛隊の艦船などを使って、柏崎港から直江津港へ住民を避難させる訓練を実施しました。

訓練は、「柏崎刈羽原子力発電所で地震に伴う原子力災害が発生し、全面緊急事態に至る。地震に伴う市道の寸断等により孤立地域が発生している」という想定のもと、「陸上自衛隊の航空機（ヘリコプター）及び海上自衛隊の船舶（多用途支援艦）を連動した住民避難訓練を実施すること、実動組織による避難支援の手順確認を行う」というものです。住民は42人参加し、柏崎市、陸上自衛隊、海上自衛隊など8機関が参

加して行われました。

計画では柏崎港から直江津港まで2時間45分かかるとしていましたが、実際にはそれよりも早く着きました。しかし、着いてから下船まで40分以上の時間を要し、どうなっているのかと思いました。

住民を運んだ艦船は訓練を前に、舞鶴から柏崎に来て避難者を運びました。普段から柏崎港にいるわけはありません。舞鶴からは一日がかりですし、天候にも左右されます。地震との複合災害となった場合には、港に接岸できるかどうかもあるかもしれません。これでいざと言う時に、避難できると思えません。疑似マイナンバーカードを使って受付をしているのも気になりました。



【タカサゴユリ】ユリ科の植物。漢字で「高砂百合」と書きます。台湾原産の植物です。最初、テップウユリと思ったのですが、花に薄紫色の筋が入っているので、タカサゴユリと判断しました。花期は7月から9月。全体的には白の花を咲かせます。花言葉は「純潔」「無垢」。写真は8月28日、吉川区で撮影。



4羽のヒナを育てたコウノトリ夫婦はいまも吉川区近辺にいます。写真は28日、吉川区小苗代地内で撮影。



## 9月定例議会は波乱含み

9月定例議会は2日から26日までの期間で開催されますが、冒頭から市長不信任決議案が提出され、通常の定例会とは全く違った波乱含みの展開となりそうです。

その背景には、7月の臨時議会において、市議会が中川市長に対する辞職勧告決議をしたにもかかわらず、「私を応援してくださる方々のご期待に少しでも応えたいという思いが日増しに強くなっている」などとして、辞職どころか続投を宣言したことがあります。

中川市長はこれまで福祉や教育の分野などで積極的な施策をいくつか実施しましたが、度重なる差別発言は全国的にも大きな問題となり、上越市に大きな打撃を与えました。中川市長退陣を求める声が一層強まること必至です。

### 9月定例議会審議日程（会議開始時間はいずれも午前10時）

日（曜）	会議名	会議室名	備考
2日（月）	本会議	議場	提案説明
4日（水）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
5日（木）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
6日（金）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9日（月）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
10日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
11日（水）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
12日（木）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
13日（金）	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
18日（水）	本会議	議場	一般質問
19日（木）	本会議	議場	一般質問
20日（金）	本会議	議場	一般質問
24日（火）	本会議	議場	一般質問
26日（木）	本会議	議場	討論、採決

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2169 2024.9.1

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八一六回 サプライズ(2)

まさか二年連続でサプライズがあるとは思いませんでした。毎年八月の最終土曜日に行われる川谷運動会のことです。

今年の運動会は午後三時からとはいえ、三〇度を超える猛暑でした。会場となった旧川谷校体育館には地元住民を中心に三十数人が集まり、輪投げ、ビン釣り競争などの競技を繰り広げ、楽しみました。

競技が終了して懇親会になり、まもなくのことでした。体育館の床と同じ高さの小さな窓からは時折、涼しい風が入ってきていました。やはり夕方だな、いい風が吹く。そう思っていたところで、芳和さんが豊子さん、幸彦さんを伴ってケーキを運んでくるのが目に入りました。ケーキの上に立てられたロウソクの灯を消さないようにゆっくり、慎重に運んでいる様子がよくわかりました。

ケーキは正面舞台前に設置された長いテーブルの上に運ばれました。ケーキの上のロウソクは十数本。赤、黄、緑などのロウソクの火は消えることなく無事でした。

さて、何が始まるのかと思ったら、何と何と、入籍したばかりの宇野さんとパートナー二人の結婚を祝うケーキカットと花のプレゼントだったのです。

二人は舞台前に並び、「セーノ」の掛け声に応じてロウソクの火を消すと、会場からは、「オオオオ」という声が上がりました。続いて、「ケーキ、入刀!」というアナウンスが入り、二人は包丁を持ちました。少し練習してから上から下の方へとゆっくり切りました。会場は一気に盛り上がり、「ハイ、写真どうぞ」「おめでとー」「いかった、いかった」などの声でいっぱいになりました。山形放送のテレビカメラ、星山さん、石谷のタカヤマさんなどのカメラが一斉に動きました。

このとき、一人の小学生と思われる男の子が二人の前に出てきて、盛んに拍手をし

ていました。この姿が何とも言えない素敵な雰囲気を作りだしていました。

そこへ、もう一人登場したのです。いつの間にか会場にやってきていた懐メロギタリスト・中村真二さんです。新郎新婦の右隣にすっと入ると、ギターを弾きながら、「赤い絆に思いを載せて……」と歌いはじめたのです。ケーキカットが終わった直後の絶妙なタイミングでした。

「乾杯、今君の人生の 大きなおおきな舞台に立ち遙か長い道のりを歩き始めた……」。みんながじっと聴き入り、中村さんの歌が会場にいた人たちの心にしみみていくのが見えるようでした。中村さんも最高の気分だったのでしよう、歌っているときの表情もじつにさわやかでした。最後の「君に幸あれー」まで歌ったところで、大きな拍手が起きました。

『乾杯』の歌が終わったところで、宇野さんにマイクが渡され、「とても素敵なサプライズをありがとうございました。二人で頑張って新しい生活を営んでいきます。温かく見守ってください」と挨拶しました。

新婦が深々と挨拶を下げた後、石川さんと新郎新婦の間で行われた、「キスはしてもらえますか」「いえ」「じゃ、キスは無しで行きましょう」というやりとりも聞こえてきました。

続いて花のプレゼント、記念撮影も行われました。体育館の中央部分に参加者が並びました。もちろん新婚の宇野さんたちが中心です。新郎がケーキ、新婦は花束を持ち、赤とピンクでの紙で作られたハートが紅白の細いヒモにぶら下げられ二人の周りに飾られました。準備オークーです。誰かさんが「お幸せにー」と言って笑顔を求めました。いい記念写真になったはず。

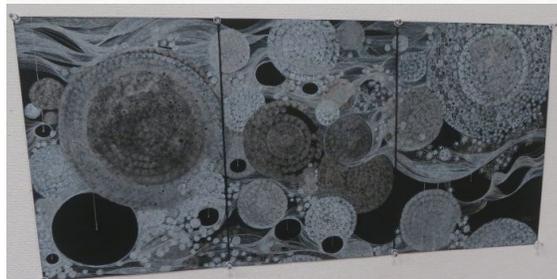
今回も運動会はサプライズで大きく盛り上がりました。二年もサプライズが続くと来年は何があるか気になります。

## 上越美術協会展へ

8月17日、上越美術協会展へ行ってきました。

素晴らしい作品が多かったのですが、注目した作品の一つは東條麗子さんの「混迷」というタイトルの作品(右下の画像)です。ボールペンを使ってじつに細かく、丁寧に描いてありました。しかも平和を守ろうという気持ちがあふれていました。

高校時代の同級生、内山富佐子さんと三浦和子さんの作品、安らぎを感じました。坂井亮円さんの裂き織は朝騒を見事に表現していました。



8月24日に行われた川谷運動会でのひとコマです。私のホームページでは、カラーでご覧いただくことができます。

## ニュースFLASH

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月21日(水)	8月28日(水)
上越消防署	0.050	0.057
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.067	0.060
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.050	0.057
高士分遣所	0.050	0.050